

第44回播磨町菊花展が催されました

10月28日(火)～11月9日(日)まで、役場第1庁舎駐輪場で、住民の方々から丹精込めて育てた菊の花が展示されました。見事な色艶、形と香りを楽しむうちに、多くの人が足を止めて鑑賞していました。

- 入賞者は次の通りです。(敬称略)
財務大臣賞 松田 政雄(北野添)
文部科学大臣賞 藤原 やちよ(西野添)
農林水産大臣賞 八木 宗次(古宮)
兵庫県知事賞 宇都宮 久登司(野添南)
兵庫県菊花連合会長賞 梅澤 章夫(二子)
播磨町長賞 宇都宮 久登司(野添南)
播磨町議会議長賞 神吉 勇夫(本庄)
播磨町教育長賞 神吉 恵(本庄)
播磨町菊花会長賞 藤原 剛(西野添)
兵庫南農業協同組合長賞 安田 寛幸(野添)
播磨町商工会長賞 松田 鈴代(北野添)
神戸新聞社賞 浅原 良平(大中)



全国からウォーカーがやってきました 加古川ツデーマーチ 大中遺跡チエックポイント

11月8日(出)、9日(回)の2日間にわたり播磨路を歩くイベント「第19回加古川ツデーマーチ」が行われました。大中遺跡は、2日目の30キロ、40キロコースのチェックポイントとなっています。スタートゴール地点である、加古川市役所までの中間地点として多くの方が、ここを昼食などの休憩場所にしていきます。この日は、肌寒さを感じる天候でしたが、参加者はボランティアが用意したお茶や商工会青年部の出すうどんでお腹をあたかくして、残りのコースに元気づく歩き出していきました。



▲チェックの後、博物館を見学する参加者もいました

ムラのまつり「大中遺跡まつり」に1万5千人が集いました

今年も播磨町の誇る大中遺跡まつりが11月1日(出)に催されました。例年午後に行われていた火おこしの儀や古代パレードですが、今年はオープニングのイベントとして実施しました。

かわいい串呼さまのお輿を中心にご覧のムラ人の列が開場に到着し、ムラ人たちの歌が披露されました。その後大舞ぎりを使った火おこしが行われ、まつりを見守る炎が灯されました。

ステージでは、「古宮の獅子舞」「播磨太鼓」をはじめ、各団体の演奏などが続きました。会場では、食べ物や模擬店に思い思いのいいものを求める列ができ、割り箸鉄砲づくり、リサイクルガラスの風鈴づくり、輪投げコーナーなどの遊べるコーナーが賑わっていました。午後になると、子どもたちのお楽しみ「古代体験コーナー」がスタート。土笛づくりや、まが玉のアクセサリー作り、火おこし体験などを楽しんでいました。また、希望者は貫頭衣を着ることができ、古代体験コーナーを終えた子どもたちが古代の子どもになりきった姿で、会場内を駆け回り、まつりのムードを盛り上げていました。



東播磨ふれあいネット(BAN-BANテレビ 11チャンネル) 播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の情報番組です。

12月の放送予定 (収録場所 高砂市)

- 前半 12月1日(月)～14日(日)
●特集 やってみませんか? 学校支援ボランティア(播磨町)
●ふれあいインフォメーション(各市町からのお知らせ)
後半 12月15日(月)～28日(日)
●特集 高砂子育てすこやかガイド(高砂市)
●ゆうゆうライフ(播磨町)

放送時間(第1・3月曜日の①以外は再放送)30分番組
月・水・金 ①午前10時 ②午後2時 ③午後7時30分 ④午後11時30分
火・木 ①午前9時30分 ②午後4時 ③午後9時30分
土・日 ①午前8時 ②午前11時30分 ③午後5時 ④午後9時

いいね! はりま

町政 レポート No.23



▲中学校の給食風景(視察にて)

役場の前の桜も木の葉がすっかり色づいて、晩秋の候となりました。今年の秋もスポーツ団体や文化団体、芸術家など、多くの方面からご案内をいただき、活発な活動を拝見させていただきました。何か夢中になれるものがある人生は、美しく崇高にさえ感じます。

10月27日に臨時議会を開き、補正予算「中学校給食」関連予算を計上しました。内容は3月の当初予算において議会で否決されたダムウエーター(上階に運び上げる設備)と配膳室の設計監理委託料です。子どもたちを取り巻く最近の食環境と食育の重要性を鑑み、一日も早い実現をという声にこたえるべく、今回再度予算計上しました。しかし福原・宮尾・河野議員から「給食予算を削除せよ」という組み換え動議が提出され、9対8で動議が可決されてしまいました。教育委員会も行政もこれまで多くの方々へ説明を尽くし、多くのご意見をいただいて、満を持しての補正予算提案でありましたので、当局側から取り下げることはしない旨申し上げましたところ、「給食予算を削除した修正案」が出され、9対8で修正案が可決されました。長年、議会でも中学校給食についての要望・議論がなされてきており、今回、教育委員会の決定を受けて、一日も早い実施をということでの補正でありましたので、とても残念に思っています。長年、中学校給食実現を要望してこられ、「給食に反対ではない」と言われる議員の方々は何故、いざ実現に向けて動き出そうとする今の段階で、論議を後戻りされようとするのか理解に苦しむところです。「学校給食法」で定められ、全国ですでに80%近くの公立中学校で実施されている中学校給食を、義務教育の責任において、播磨町でも早急に実施したいと考えておりましたが、実現は遠のくこととなりました。

播磨町長 清水ひろ子

わんぱくはりまっ子



かねつく いおり 金築 伊織ちゃん(2歳)

北本荘

元気で明るく育ってね お父さん・お母さんより



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話をお願いします。

楽屋裏

特集で紹介したネット社会。書いた人はただの愚痴のつもりでも、書かれた人はそんな軽い気持ちでは読めません。ブログなどはネット上の日記のようなのですが、誰にも見せない従来の日記とは違います。知人も知らない人もそれを読みます。学校など、現実に近い場所にいる者同士では、書かれた人が傷つくのはもちろん、書き込んだ人もひどく後悔をするものです。私はネット上のブログが、ひと昔前の文通のように、掲示板が駅の伝言板のように、大切な人と人がつながるための道具であって欲しいなと思います。(宮)